報道発表資料

相談解決のためのテストから No.79

平成 26 年 12 月 4 日

独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

使っていたらボロボロと崩れてきた腕時計の樹脂製ベルト

1．依頼内容

「2 年前に購入したスポーツ用腕時計のベルト部分の一部がボロボロと壊れた。商品に問題がないか調べてほしい。」という依頼を受けました。

2．調査

当該商品は、ベルトが樹脂製のスポーツ用腕時計で、相談者が通勤やジョギング時等に約 2 年間使用していたところ、ベルト部分にひび割れが生じ、ボロボロと崩れてきたとのことで、使用後には特に汗の拭き取りや洗浄などはしていなかったとのことでした。

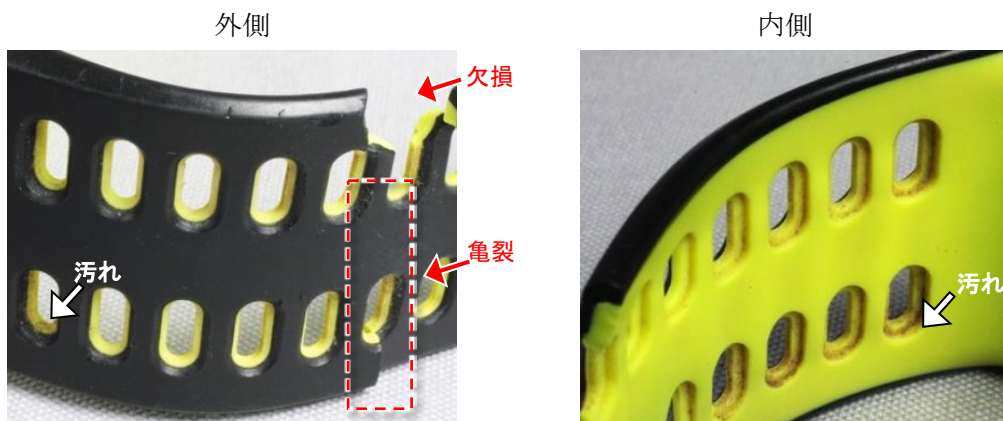
ベルトを観察したところ、大小の欠損や亀裂等があり、ベルト穴には汚れがみられ、特に肌に接する側に汚れが蓄積しており、ベルト内側の黄色い樹脂は全体的にくすんで変色していました（写真参照）。

また、ベルトの樹脂の材質を調べたところ、ポリウレタンを主材とするものと考えられました。

一般的に、ポリウレタン樹脂は光により劣化し黄変することや、湿気等の水分により材質が劣化したり、微生物によって分解されて材質が脆（もろ）くなることが知られています。

写真．ベルト

外側

内側

ベルトの欠損や亀裂などが観察された部分と、直射日光等の影響が少ない内側部分を分析したところ、いずれの部分からもポリウレタン樹脂の原料や、樹脂の溶剤や可塑剤と考えられる成分が検出されました。また、一部からは化粧品や日焼け止めに使用される紫外線吸収剤と考えられる成分が検出され、欠損や亀裂などが観察された部分からは、皮脂等に由来する脂肪酸やコレステロール由来と考えられる成分が検出されました。

当該商品は約 2 年間使用され、その間にベルトの主材であるポリウレタン樹脂が、直射日光や湿気、皮脂や汗、化粧品や日焼け止め等の成分により劣化し、破損につながったものと考えられました。

当該商品の取扱説明書やパッケージが相談者の手元に残っていなかったため、販売者のホームページに掲載されていた内容を調べたところ、樹脂製ベルトについての注意事項や取り扱い方法に関する記載はみられませんでした。

一方、腕時計の樹脂製ベルトに関し、時計の事業者団体等のホームページを調べたところ、湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に放置したり、汗や化粧品、クリームなどが付着したままになっていると、ひび割れや切れ、色あせ等の劣化が、短期間で進むことにつながる可能性がある旨が記載されていました。

３．解決内容等

テスト結果の報告を受けた依頼センターから販売者に、ポリウレタン樹脂を使用した商品の取り扱いに関する注意喚起及び保証書の交付の必要性を伝えたところ、社内で協議し前向きに検討するとの回答でした。

本件問い合わせ先
商品テスト部：042-758-3165